

埼玉県児童生徒の体力向上推進事業概要

＜本県の体力向上推進事業のはじまり＞

- 昭和47年に「体力向上推進事業」を策定し、体力向上に関わる諸事業を進めた。
- 昭和51年12月の県議会決議に沿って、各市町村、学校に体力向上推進委員会を設置し、全県をあげて児童生徒の体力向上に努めている。

＜本県の体力の状況について＞

- 昭和60年頃までは向上傾向にあったが、その後は停滞・低下傾向が続いていた。
- 平成17年度から「教育に関する3つの達成目標」に「体力」達成目標を設定した。
- 平成19年度から年度毎に課題種目等を設定し、各学校で体力向上に努めてきた。平成26～28年度の課題種目等は以下のとおりである。
 - ・平成26年度 総合的な体力向上を目指すために、「生活習慣の改善」・「体育授業の充実」を図る。
 - ・平成27年度 総合的な体力向上を目指すために、体育授業などを通して「生活習慣の改善」・「ボール投げ・握力」に取り組む。
 - ・平成28年度「ボール投げ・握力」
- 平成21年度以降の新体力テスト結果では、体力は向上傾向を維持してきた。
- 平成29年度から方針「児童生徒一人一人の課題に応じた取組により、総合的な体力向上を目指す」と設定し、体力の向上を推進している。
- 令和6年度の新体力テストの結果は、令和5年度と比較すると高等学校は横ばい、小・中学校は上昇した。

1 令和6年度体力向上推進事業概要

(1) 体力向上に関する研究

ア 県体力課題解決研究校の指定

小2校、中1校：2年間

イ 高等学校地区研究協議会の取組

県内13地区の各会場校において体力向上の視点も踏まえた研究協議会を実施

(2) 体力向上推進委員会の開催

ア 埼玉県児童生徒体力向上推進委員会

- ・年2回開催（5月、2月）
- ・学識経験者を含む委員の様々な立場からの意見をもとに、本県の課題の分析及び対策について協議

イ 市町村体力向上推進委員会連絡協議会

- ・年2回実施（5月、2月：資料提供）

(3) 体力向上に関する調査

ア 新体力テスト

イ 体力向上推進委員会等に関する調査

- ・市町村体力向上推進委員会の設置状況
62市町村 100%

- ・体力向上推進委員会又はそれに代わる組織の設置状況
(設置校数/学校数)

年度	小学校	中学校	高等学校(全)	高等学校(定)
5	691/691 100%	356/356 100%	134/134 100%	23/23 100%
6	689/689 100%	355/355 100%	134/134 100%	24/24 100%

※(定)は通信制を含む

- ・学校における体力向上推進委員会の主な取組(%)

主な取組	小学校	中学校	高校全	高校定
①体力の実態把握 新体力テスト結果の分析	100	99.7	95.5	87.5
②学校の体力課題や 体力向上の方針等の設定	97.1	97.2	72.4	83.3
③県方針「児童生徒一人一人 の課題に応じた取組」	95.5	95.8	85.1	83.3
④共通理解を図り体力向上に 向けた取組：授業の改善	85.3	93.3	88.8	95.8
：生活習慣の改善	51.4	44.9	22.4	45.8
⑤県新体力テスト結果の活用	98.7	96.9	92.5	75.0

※令和6年12月1日現在の調査（さいたま市を除く）

2 令和6年度埼玉県の体力に関する施策指標

ア「埼玉県5か年計画－日本一暮らしやすい埼玉へ－」

(令和4年度～令和8年度)

イ「第4期埼玉県教育振興基本計画－豊かな学びで 未来を拓く埼玉教育－」

(令和6年度～令和10年度)

施策指標	対象	目標値(R8)	R6	R5
体力テストの5段階 絶対評価で上位3ラ ンク(A+B+C) の児童生徒の割合	小学校	85.0%以上	78.4%	78.1%
	中学校	88.0%以上	81.4%	81.3%
	高等学校(全)	90.0%以上	87.0%	87.0%

規則正しい生活習慣は、体力や学力のアップにつながると言われています。
低学年のうちから規則正しい生活習慣を身に付けられるように、御家庭でお子様と
一緒に1日を振り返ることができるよう「生活習慣診断シート」を作成しています。
保健体育課のホームページからダウンロードできます。

埼玉県 保健体育課

検索



「埼玉県体力課題解決研究指定校」の研究概要

	学校名	児童生徒数	研究主題	研究概要	発表日
令和6・7年度埼玉県体力課題解決研究指定校	春日部市立武里南小学校	337	「体を動かす楽しさに触れ、進んで運動に取り組む児童の育成」 一汗をかき、喜び実感、武里南小の体育授業―	○「楽しさ」から「喜び」を実感し、汗をかく授業実践 ・児童自ら課題を見付け、学び合いを通して「わかった」「できた」を実感できる授業づくり ・技のポイントを適切におさえることによる確かな学びの実現 ・児童の実態に即した場の設定と教材教具の工夫による個別最適な学びと協働的な学びの推進 ○新体力テストにおける個々の体力目標の達成 ・年間を通じて行うRUNRUNタイム（マラソン）への意欲向上と基礎体力の向上 ・校庭の体を動かしたくなる場の工夫による、遊びを通じて培う様々な感覚づくり ・家庭との連携による、体力向上と健康教育の推進（「健康生活しらべカード」の年間実施、家庭で取り組める運動の紹介、「マイトレ」による体力向上） ○体育指導に自信がもてる教師の育成 ・計画的な校内授業研究の実施による、武里南小の体育授業の確立（正しい技のポイントの共有、児童主体の授業づくり、個の課題にアプローチする学び合いの充実） ・教材教具の扱い方、補助の仕方、準備運動の仕方等の教員間での共通理解 ・安全面に配慮した指導の徹底 ・生活と関連付けることにより、自分事として捉える保健学習の充実（養護教諭や外部講師との連携、他教科とリンクさせた学びの充実）	令和7年 11月19日 (水)
	春日部市立中野小学校	325	「気力みなぎる児童の育成」 ―児童が非認知能力を磨き、主体的に運動に取り組む、体力を向上させる体育授業のあり方―	○「気力みなぎる児童」を育成 ・「ティーチング」「コーチング」に教師の声かけを分類 ・児童の「褒め言葉集」を作成 ・非認知能力アンケートを実施 ・非認知能力に関するふり返りを毎時間実施 ○主体的に運動に取り組む、「できた！」という達成感、成就感を存分に味わい、 ・教師が安心して授業に望めるよう、指導重点ポイント、体育の約束を作成 ・「指導のゴール（教師）」「学習のゴール（児童）」を作成し、目指す児童像を明確化 ・中野小スタンダード作成 ○日常的に運動に親しむ機会の充実 ・校技「縄跳び」（週1回業間休み：個人技を高める、月1回：検定を実施） ・全校ドッジボール（週1回昼休みに全校で実施） ・各種器械運動教室の実施 ・新体力テストや縄跳び等、中野小最高記録を掲示	令和7年 11月27日 (木)
	三郷市立高州東小学校	238	「心身ともに健康で明るい児童の育成」 ―希望（期待）と感動（体験・成果）と歓声（喜び）のある学校の基盤づくりとして―	○授業における取組 ・「指導の個別化」「学習の個性化」を意識した計画により、誰ひとり取り残さず、すべての児童に楽しさを味わわせる授業。 ・期待感をもたせ、活動時間を確保し、わずかな成果も仲間と喜び合える授業。 ○授業外における実践 ・様々な運動機会を増やす「おはよう運動」 ・児童体育委員会を中心とした運動教室 ・生活習慣を自分で見直し、目標に向けて取り組む力を育む「健康ちょきんカード」 ・東小の新たな伝統「本物のラジオ体操」 ・全教員で取り組む研修体制	令和7年 11月5日 (水)